



千曲市議会だより

No.99

9月定例会

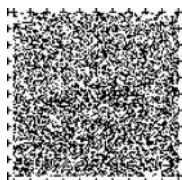
令和7年11月1日発行

みんなの議会



平成4年にオープンした、さらしなの里歴史資料館・古代体験パーク。
縄文時代の出土品の展示や「姨捨伝説」の映像、古代の火おこし、飾り玉作りを楽しむことができるほか、9月27日からは千曲市を舞台としたテレビアニメ「Turkey！」
関連資料の展示も始まっています。

9月定例会	2
決算特別委員会	3
一般質問	6
討論	14



(音声コード)

令和6年度決算を認定

～千曲市議会初の決算特別委員会を設置～

議会の重要な役割である財政のチェックを実効性のあるものにするため、初めて決算特別委員会（議長を除く全議員で構成）を設置しました。これは市の財政執行状況を深く理解し、議会の監視機能を強化するためです。従来、決算に関する議案は所管の委員会ごとに分割して付託され審査していましたが、総合的・多角的視点で税金が適切かつ効果的に執行されたか審査するため、今回の定例会では一括して決算特別委員会に付託されました。



9月16日から18日までの3日間にわたり行われた

一般会計		
歳入総額	歳出総額	差引額
322億6,409万円 (対前年比 +7.7%)	311億2,717万円 (対前年比 +7.9%)	+11億3,692万円



左：林慶太郎副委員長、右：柳澤眞由美委員長

Pick up

決算特別委員会は予算の執行状況の審査において深い議論が可能であり、行政運営の改善点や、住民サービス向上につながる提案を行うことができます。これは議会力を向上させ、政策立案機能の強化にもつながります。

A 利用枚数は2237枚、1枚650円で一人当たり年間24枚発行している。利用率は低調で、タクシーを利用できない方は社協の福祉車両を案内している。この事業の見直しは今後の課題としたい。

Q 「社会福祉費」中、障がい者等タクシー利用料金助成事業費の回数券は何人に配布しているか。また電動車いすの方や重度障がい者は使えない状況について伺う。

歳出について

A 破産宣告や、死亡され相続人がいない等の場合は不納欠損とせざるを得ない。収入未済額は弁護士を立てて対策を強化しており、未済額は減少してきている。

Q 「使用料」の住宅使用料について、市営住宅の不納欠損と収入未済があるが、今後のあり方は。

A 預貯金調査等行い処理をしているが、徴収困難案件は県の地方税滞納整理機構へ移管して徴収強化に努めている。徴収率がよくないのは、亡くなった方や倒産企業等で徴収が困難なケースがあるためである。

Q 「市民税」の滞納繰越分は徴収率がよくないが、滞納者への対応は。

令和6年度一般会計決算認定の歳入全般について

令和7年9月定例会

千曲市のこんなことが決まりました。

■会期 28日間（9月2日～9月29日）

9月定例会では、令和6年度一般会計歳入歳出決算を含む議案22件と、請願2件、陳情2件を審議しました。



議会日程

■全員が賛成・認定した議案

議案等
千曲市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について
千曲市下水道条例の一部を改正する条例制定について
千曲市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
令和6年度千曲市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
令和6年度千曲市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
令和6年度千曲市下水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について
令和6年度千曲市水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について
令和7年度千曲市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）の議定について
令和7年度千曲市介護保険特別会計補正予算（第1号）の議定について

議案等
令和7年度千曲市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の議定について
千曲市新戸倉体育館整備・運営事業に係る事業契約の締結について
市道路線の認定について
市道路線の廃止について
市道路線の変更について
令和7年度千曲市東部体育館非構造部材耐震化事業建築主体工事請負契約の締結について
千曲市・坂城町等公平委員会委員の選任について
千曲市農業委員会委員の任命について
人権擁護委員候補者の推薦について
令和7年度千曲市一般会計補正予算（第2号）債務負担行為補正に関する附帯決議（案）
「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書（案）
高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める意見書（案）

■全員が採択とした請願・陳情

請願	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願
陳情	高額療養費の自己負担上限額の引き上げをしないことを求める陳情

■全員が不採択とした陳情

陳情	公共施設内での労働組合加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情
----	---

■賛否が分かれた議案等 ※○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。（議長：20番 金井文彦）

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	議長結果
	坂口吉一	堀内太一	宇田川弘子	早志圭司	林慶太郎	田中秀樹	聖澤多貴雄	宮下繁明	中村恒彦	川嶋敬信	吉池明彦	滝沢清人	大澤洋子	中村眞一	前田きみ子	柳澤眞由美	和田英幸	荻原光太郎	北川原晃	金井文彦	
千曲市屋代駅市民ギャラリー条例の全部を改正する条例制定について	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	-	原案否決（賛5、反13）
令和6年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案認定（賛15、反3）
令和6年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案認定（賛16、反2）
令和7年度千曲市一般会計補正予算（第2号）の議定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	原案可決（賛17、反1）
上山田地区における松くい虫被害拡大防止の対策を求める請願	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採 択（賛10、反8）

Pick up 1

千曲市屋代駅市民ギャラリー 条例の全部を改正する条例制 定について

総務
常任委員会

市民の文化振興及び行政サービスの充実を図るために活用してきたが、年々利用率が低下しており、新たな活用として子どもや若者の支援、居場所づくりや学習スペースの確保を目的とした施設とすることにした。

Q 従来通りの展示や催し物に使えるのか。

A 若者を対象とした施設なので、若者に関連する展示物であればよい。従来通りの年齢に関係ない文化芸術分野の絵や書道を飾ることは遠慮していただく。

Q 子どもは日中は学校があり、その間は空いているので、大人が会議に使用したり、また時間調整や飲食の場として活用できるのか。

A 若者のフリースペースとしている時間が多いが、空いている時間に大人の活用を制限するつもりはない。

Q 教育委員会とはどのような協議を行ったのか。
A 具体的に協議は行っていない。

本会議での討論と採決結果は14ページ

Pick up 2

令和7年度一般会計補正予算中、 小学校・中学校に関する予算計上 について

社会文教
常任委員会

小学校、中学校施設の修繕は、各校からの要望により対応しているが、今後の修繕料が不足する見込みとなったことからそれぞれ200万円の増額の予算計上をした。また、中学校については、外国語指導手招致事業費として325万8千円も計上している。

Q 令和7年度一般会計補正予算のうち「小中学校施設整備事業・修繕料」について、今後の修繕予定は。

A 小学校では、更級小学校の防火シャッター、治田小学校の段差解消スロープ設置、埴生小学校の排水設備など。中学校では、屋代中学校の手洗い温水器のほか、各校の消防設備などの修繕を予定している。

Q 年度途中に外国語指導手招致事業費を計上した理由は。

A 中学校で外国語指導助手の退職があったため。生徒の学習に支障が出ないよう、外国語指導助手の派遣を委託することに対応する。

Q 派遣により配置される外国語指導助手の国籍は。

A 様々な国籍の方が登録している。



Pick up 3

上山田地区における松くい虫 被害の対策を求める請願につ いて

経済建設
常任委員会

市内では上山田地区の松林を中心に松くい虫被害が急速に広がっているが、市が行っている伐倒駆除だけでは不十分であり、坂城町で行っている空中散布も含めた効果的な対策を実施してほしい、という内容の請願。審査の結果、採択すべきものと決した。

Q 空中散布を実施するにはどのような条件が必要なのか。
A 任意の協議会を設置する必要がある。

Q 協議会の設置手順は。

A 決まりはないが、空中散布を希望する住民で設置してもらう。

Q 薬剤散布の安全性についてはどのように検証するのか。

A 協議会が安全性の検証をすることになる。

Q 過去に千曲市で行われた空中散布で具体的な健康被害の事例はあるのか。

A アンケート調査で体調不良を訴える者があった。

本会議での討論と採決結果は15ページ



松くい虫被害

令和7年度 一般会計補正予算

※1 債務負担行為補正に関する附帯決議を全会一致で可決

※1 債務負担行為…将来お金を支払うことを約束する行為 ※2 附帯決議…議案を可決する際に、市へ要望や留意事項を付け加えること

- この債務負担行為補正は、清泉大学のキャンパス建設工事に対する補助金のために行うものです。
大学は、キャンパス建設のための資材費等が高騰していることから、千曲市への支援要望を8億円に増額しました。うち4億円は長野県からの補助金を予定しています。
- 総務常任委員会において、「作成した大学との協定書の素案には補助金について記載している」また、「債務負担行為の可決後に県に対して要望を行いたい」と市長から説明がありました。
- 補正予算の議案については、総務常任委員会では全会一致で可決すべきものと決定し、その後の本会議でも可決しましたが、これまでの経緯により下記の附帯決議案が委員会より提出され全会一致で可決しました。

1. 清泉大学との協定の締結を速やかに行うこと。
2. 近日中に市長が県庁に出向き、地元県議とともに知事部局、県議会正副議長及び県会各会派に挨拶、説明を行うこと。
3. 市の事業などの情報に関し、マスコミ報道が市議会を始め関係機関への説明より先行しないこと。



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

個人質問

市議会議員個人が、市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針について、答弁を求めるもの。

今定例会では、

15名の議員が質問しました。

千曲市議会公式YouTubeチャンネルで、一般質問の全ての内容を動画で視聴することができます。各議員の顔写真の下にある二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。ぜひご覧ください。
(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)



議会公式チャンネル

千曲市議会YouTube

検索

公明党

滝沢 清人



急激に進む地球沸騰化、脱炭素へ強力緩和策を

3年前、国連グテレス事務総長「沸騰化宣言」以来、3年連続で史上最も暑い夏を更新。約300年前の産業革命前から、年間平均気温1℃上昇は2017年頃、それから僅か7年後の2024年に1・55℃を超え、沸騰化は暴走し、ティップポイント（気候転換点）が迫る。日本は気候危機意識が低い。市は大切なまちの未来を守る強力なアクションを起こせ。

年度内に環境意識調査を実施し、国連「ACT NOW」については早速取り組む。

地球上で最悪な侵略的植物へ適応を

沸騰化とともに南米原産の特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」が、西日本か

A

ら関東まで定着しつつあり、隣の埼玉・山梨・静岡にも定着し長野県も時間の問題となっている。この植物は「繁殖力・拡散力・再生力」が非常に強く、特に水田で大変な被害が広がっている。市の予防・対応策を伺う。



最悪な侵略的植物
ナガエツルノゲイトウ

【その他の質問】

○深刻な猛暑へ要配慮者の見守りについて
○学校体育館へ空調設備設置、戸上中エレベーター設置で福祉避難所に特化は
○ドローンを活用した新たなまちづくりについて

新政クラブ

堀内 太一



千曲市歴史的風致維持向上計画と文化財保存活用地域計画の推進について

稲荷山重要伝統的建造物群保存地区において、両計画に基づく修理・修景事業は進んでいるのか。

A

平成27年度から令和6年度末までに修理事業として25事業・15棟、本年度は4事業の修理を実施しており、3棟が完了の見込み。

Q

空き家や所有者の高齢化に伴う費用負担の課題に対し、市はどのような支援策を講じているのか。

A

伝統的建造物は、地方税法の規定により固定資産税が非課税となっている。土地と伝統的建造物以外の建物に対する固定資産税の軽減措置は、不均一課税条例制定でできる。重伝建地区の保存推進並びに住民の負担軽減と税の公平負担の観点から研究を進めていく。



千曲市歴史的風致維持向上計画は第2期策定中
文化財保存活用地域計画は令和12年度まで

Q

市が自ら行う必要な事業とは何か。

A

日本遺産「月の都千曲」の構成文化財として位置付け、稲荷山重伝建地区まちづくりデザインで整備方針を定め、千曲市歴史的風致維持向上計画（第2期）で事業化を図りたい。

Q

「鍵の手」の今後の整備計画は。

A

現在サウンディング型市場調査を行っており、それらを参考に拠点施設としての機能（休憩、物販、案内施設、祇園祭の民俗文化財展示施設など）と管理運営方法を検討し、活用方法にあった内装改修を行いたい。

新政クラブ

中村 眞一



「第四次千曲市総合計画策定方針（令和9～13年度）について

「第三次総合計画」（令和4～8年度）の総括の手法について伺う。

A

計画に掲げる各種施策の成果指標における達成度等の検証を行い、「継続、見直し、廃止」など位置付けを検討したうえで、庁内検討委員会や総合計画審議会で審議をし、市議会にも諮りながら進める。

Q

「第四次千曲市総合計画」策定方針（案）の具体的な検討方法について伺う。

A

8月の部長会議で協議、承認を得たものだが、9月下旬のパブリックコメントで市民の意見等で見直しを行ったうえで決定したい。

Q

議会との関わりについて伺う。

A

前回の第三次総合計画策定時においては、市議会に「特

Q

今回は急激な人口減少・高齢化、働き手不足が表面化する中で、その専門的な対応について伺う。

A

諸課題に対して、専門的な知見を有する人材を審議会の委員として選任する。

Q

「第四次総合計画における財政計画」について伺う。

A

計画策定時点で見込み得る事業費を適切に把握するとともに、関連する一部事務組合の事業内容も確認したうえで、財政計画を策定する。

Q

「市民参加の手法」について伺う。

A

中学校単位で開催する「まちづくり懇話会」を復活させるとともに、市民との対話機会を確保する。

【その他の質問】

○市民の安心、安全を守る防災対策の進捗状況について



持続可能な財政運営について

Q 市民の未来を守る手段としてのDX推進本部の設置を求めるが。

A より充実した市民サービスのためには、前例にとらわれない大幅な業務改革を行うDXの推進は喫緊の課題であり議論を進める。

自主財源の確保策について

Q 請願が採択された新田区防災道路計画の早期実現は。

A 新田区防災道路計画は安全上のインフラ整備、地域経済の活性化、若者の定住促進、市税の増収など多岐にわたる効果を認識している。既に工事着手した路線を含め宅地開発進行前に道路に必要幅を示し、残りの幅杭未設置路線についても進めていく。事業推進には地元及び土地所有者の合意が必須である。

Q 千曲市独自の宿泊税導入は。

A 自主財源の確保に向けた宿泊税導入については現時点で白紙ではあるが、県や他市町村の動向を注視していく。

Q ふるさと納税の今後は。

A 国の定めるルールを遵守し、地域資源を最大限に活かした戦略的な展開により寄付の拡大につなげる。

移住定住策について

Q 大田原区の今後は。

A 地域おこし協力隊の可能性も検討し、また清泉大学との連携も考える。

健康維持増進支援事業の補助金について

Q 今後も補助金の継続を。

A 現在協議中であるが、来年度予算策定までに方向性を定めた。



自主財源の確保にも期待される新田区防災道路計画予定地一帯 86,000㎡



ジェンダー平等な職場・地域を

Q 地方の人口減少克服と、東京一極集中の是正には、ジェンダー平等の視点が重要。女性若者が生きやすい地域が望まれるが。

A 市の審議会等の女性割合は40%の目標値にかなり近づいた。市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略及び人口ビジョンを策定し、平成28年以降連続で社会増を達成している。

Q 職場では男女の賃金格差が大きく、女性の賃金は男性の7割と調査結果が出ている。非正規や会計年度任用職員に女性が多く、保育士も同様。地方自治体が賃金格差を地方創生の課題に設定する必要があるとの政府の指摘に対してどう対処しているのか。

A 同一労働同一賃金というパートタイム・有期雇用労働法という。

働法や労働者派遣法の法的な後押しもあり、格差は縮小方向である。

温暖化防止へ総力を挙げ対処を

Q 長野地域連携中核都市圏「2050年ゼロカーボン宣言」の啓発イベント、温室効果ガス削減に繋がる耕さない有機栽培「環境再生有機農法」などあるが、市はどう取り組んでいるか。

A 現在策定中の令和9年度からの第三次千曲市環境基本計画に、2050年ゼロカーボンに向け、効果的な施策を検討していく。

千曲市まちづくりアカデミーについて

Q 市の課題分野である女性活躍・環境などが専門分野の学識経験者、中島恵理アドバイザーの活動実績は。

A 令和3年9月から委嘱。「ゼロカーボンシティづくりに向けた講演会」など毎年講師を務めていただき、今後も継続していく。



市の文化施設について

Q 上山田文化会館の改修工事を取りやめ、統廃合を検討することだが、市民の理解は得られるのか。

A 今年度から関係課により市内3つの文化施設の特徴や利用実態を調査し、施設のあり方について廃止を含め、文化振興面や財政面などさまざまな視点から検討している。

Q あんずホール地下の楽器庫の雨水漏れの状況は。

A 7月21日に地下倉庫の雨水配管付近からの漏水が確認された。現時点では天候との因果関係や原因の究明には至っていない。

Q あんずホールのステージ用楽器庫は地下の軽運動室横にあり、運搬の時間や楽器の損傷のリスクがあるが、今後の対応は。

A

公共施設総合管理計画に基づき、限られた財源の中で施設の維持管理や改修も計画的に対応することとしているが、当面対応困難な状況にあると認識している。



上山田文化会館

【その他の質問】

○産業振興と地域経済活性化について

- ・清泉大学農学部への対応は
- ・商店街の活性化や中心市街地の活性化は
- ・屋代SICの高速バス停モーターコネクトとは

○教育環境について

- ・千曲坂城クラブの今後
- ・小中学校の体育館の空調は
- ・小中学校のプールの今後は



決算上の不用額について

Q 予算不用額についての認識は。

A 不用額は予算執行上の健全な節約との認識をしている。また、安易な使い切り予算は認めていない。

Q 厳しい財政における予算のやりくりと事業執行は。

A 単年度における市債発行額が公債費を上回らないことを財政規律として、市債現在高と公債費の減少に努めている。

清泉大学農学部と千曲市の地域連携を

Q 学生が千曲市に定着することとが市のメリットと考えるが。

A 学生が千曲市に居住することとで住居費・飲食費などの経済効果を生み、税収増など市財政に寄与する。

Q

屋代南高校ライフデザイン科と大学の連携を進めるべきだ。推薦枠の設置など具体的な連携策で安定的な学生確保にも寄与するが。

A 両校の連携により地域の食品分野の発展や専門家の輩出につながる。屋代南高校の指定校推薦枠については、非公式ではあるがこれまで大学に要望してきた。

Q 歴史公園一帯から一重山屋代城跡などの地域資源との連携は。

A 「一重山みらい会議」が支障木の伐採など実施しているが、里山整備活動への学生の参加を通じて地域課題の解決に貢献する人材育成が期待できる。

Q 姨捨棚田の保全活動との連携は。

A 農業に関する調査研究や人材育成に期待するところであり、棚田が抱える課題解決に向けて大学と連携協力していく。

【その他の質問】

○屋代小学校旧本館の改修事業開始の見込みについて



ドローン活用について

Q 千曲市におけるドローン活用の現状と今後の方針について伺う。

A 防災面では千曲坂城消防本部が災害時の映像を市対策本部で活用しており、今後も協力を継続するとともに、「防災拠点・道の駅」基本構想において将来的にヘリポートやドローンポート整備を視野に入れ調査研究を進める。農業分野では国の普及計画に沿って推進し、農薬散布や生育把握、鳥獣被害対策に活用されていることから、情報収集に努め今後の支援策となるよう研究を進める。観光面では、既にPR動画に空撮を導入し、臨場感ある情報発信を可能にするツールであるため引き続き活用していく。都市公園での利用は営利目的の場合届出と使用料を課

し、条件付きで許可しているが、市独自の条例や安全ガイドラインは現状なく、必要に応じて検討する。

喫煙のあり方について

Q 喫煙対策について様々な観点から伺う。

A 喫煙対策では、千曲市健康づくり計画で成人喫煙率10%を目標に掲げ、健診時の個別指導や母子向け周知を実施し一定の成果があるが、直近はやや悪化したことから広報の改善や新型たばこの正しい知識普及が必要と考えている。市民・職員アンケートは予定せず、受動喫煙防止に重点を置き喫煙者の尊厳にも配慮して対策や啓発を行うとの立場である。庁舎喫煙所は総務課が所管し委託業者が管理している。今のところ撤去は検討していない。たばこ税は使途が特定されない一般財源であることは事実。禁煙や受動喫煙防止を促す立場から喫煙環境整備への充当は想定していない。



シティプロモーション推進事業について

Q 株式会社ポニーキャニオンと締結した包括連携協定に、市が期待することは。

A 同社が有するネットワークやプロモーションのノウハウを活用し、市のシティプロモーションの質を高めること。市の地域資源を映像化することによる新たな来訪者の拡大、関係人口の創出に期待している。

Q 千曲市を舞台としたアニメ「Turkey!」の今後の活用は。

A 現在、放送終了後の聖地巡礼を見据えたマップの制作など、市内を周遊する事業に取り組んでいる。引き続き、賑わいの創出、交流人口の増加、地元愛の醸成につながるよう取り組む。

労働力人口減少への対応について

Q 市の人材確保について、課題と対策は。

A 労働力人口の減少、他の自治体や民間企業との人材獲得競争により志望者数が減少しており、特に建築・土木技師など専門職の確保が難しくなっている。積極的に市の施策を発信するとともに、職員の働き方改革や職場環境の整備にも取り組んでいる。

企業等への支援は。

A 市では株式会社リクルートとの連携協定に基づき採用力向上セミナーなどを開催しているほか、労働生産性向上に資する設備を導入した中小企業に対する助成を実施している。



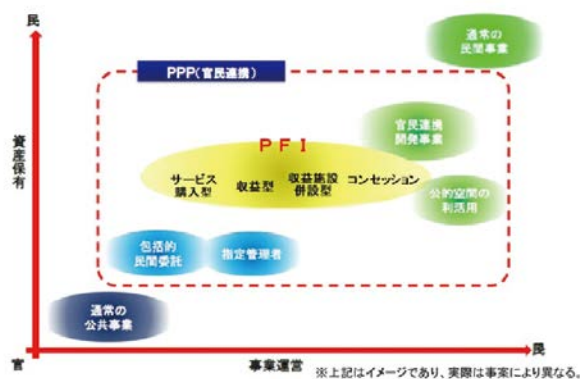
屋代駅に設置されたアニメ「Turkey!」の大型懸垂幕



公民共創について

Q 令和6年度より公民共創推進室が設置されてから今日まで進められてきた公民共創の取り組みや課題について伺う。

A 現時点での成果として、新戸倉体育館建設事業において千曲市初となるPFI事業に取り組んでいる。また、公民共創推進室が設置される以前からも、公民連携事業として両宮産業団地や八幡東産業団地の開発に民間事業者と連携して取り組んでいる。今年度には県内でもまだ少ない「民間活力導入ガイドライン」を策定し、このガイドラインに沿って公共施設の整備・管理事業や公有財産利活用事業について、サウナディング型市場調査を実施する。民間事業者との対話に多くの時間を要するなど、全ての事業を対象とするのは困難なことが課題であり、メ



民間活力導入の手法の位置づけ(国交省総合政策局資料)

リットデメリットを見極め、千曲市にあった公民共創を推進する。

Q 民間活力導入による公共施設等総合管理計画推進の取り組みは。

A 対象となる施設について、ホームページに公表。導入検討施設・市有地の一覧や稲荷山重要伝統的建造物群保存地区旧米清整備事業に関するサウナディング型市場調査の実施、千曲市市営住宅整備・管理事業について国土交通省のサウナディング案件への登録の公表など行っている。



土地改良区等の受益者負担金について

Q 市内にある用水組合と土地改良区において徴収されている受益者負担金はそれぞれいくらか。また市からの補助金はいくら交付されているか。農業者の負担に差があるが是正する考えはないか。

A 受益者負担金は10アール当たり西部土地改良区で千円から2千円、六ヶ郷用水組合で2800円、埴科土地改良区は0円。市からの補助金は西部土地改良区に1250万円、六ヶ郷用水組合は378万円、埴科土地改良区には3715万円。それぞれ独立した組合であり負担金の統一は難しい。

旧ふれあい福祉センター跡地の売却について

Q 上山田にあった旧ふれあい福祉センターの跡地が売却されたと聞くが、市民や議会に報

告がない。取引の詳細な内容は説明すべきではないか。地元にも相談せずに誰の判断で売却したのか。

A この土地は平成3年に上山田町が購入したのだが、財産帳に取得価格がないため簿価は不明。建物の解体費用は1億4千万円。売却先は中野土建、売却金額は5200万円。普通財産として市長の判断で売却した。

清泉大学農学部への財政支援について

Q 令和6年度決算の市の経常収支比率は95.2%、実質公債費比率は11.3%と県内77市町村の中でも最低レベルになっている。市は民間の私立大学である清泉大学農学部へ8億円の補助金を出すとしているが、市民生活に密接な老朽化している保育園や小学校の改築を優先すべきではないか。

A 大学誘致と保育園、小学校の改築とは目的が違う。大学誘致は長年の夢であり若者世代を市内に定着させるための将来への投資。上山田小、治田小の改築は耐力度調査の結果をみて進める。



清泉大学誘致について

Q 今定例会に提案されている債務負担行為（追加）補正案の審議に当たり、以下の点を明記した清泉大学との協定書の作成、議会への提出を求める。①当該金額は8億円であること。②追加の運転資金等の財政支援を行わないこと。

A 債務負担行為が認められたら協定を結ぶ。

Q 大学との条件、取り決めなど協定書の内容が示されないと、議会は認めることができないが。

A 正式なものではないが案は作りたい。

Q 長野県にも大学への財政支援を求める、との新聞報道があったが、この件は県には届いていないようだが。

A 要望ではないが説明は再三行っている。県では県域で

の利益につながるか等検討していただいている。

Q 報道が先行している件を、リーダーたる市長がお詫びを兼ねて説明に伺うべきでは。

A 債務負担行為が認められたら、正式にすぐ市長が対応する。

地域おこし協力隊について

Q 7月8日に開催された、副島優輔氏によるセミナーの趣旨と市長の思いは何か。

A 制度のメリットとデメリットの双方を正しく伝え、職員の理解を促すことが目的。協力隊導入を望む市民の思いを受け止め、市民の関心を踏まえた市長の指示であった。

Q 協力隊が必要な事業はないのか。

A 各課を対象とした導入意向調査の結果は、34課中1課が「導入の可能性を検討したい」、18課は「現時点では導入の予定はない」との回答だった。将来的には採用の余地があると考えている。



観光を軸として文化・文化財とスポーツを活用した交流人口の増加を図ることを目的に新設された「文化観光スポーツ部」について

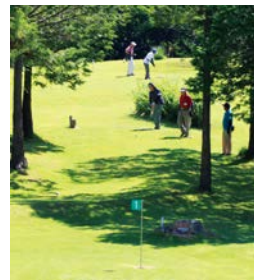
Q 今まで文化財施設を活用し「地域振興・市民相互の交流・観光による地域活性化」など成果が見られなかったが、今後どのように活用するのか。

A 文化財施設は年間維持費や修繕費など、多額の経費が掛かっている。保存や修繕だけではなく、今後は施設の魅力発信や新たな発想やアイデアで来訪客を増やし、活用・活性化を図る。

Q スポーツ施設「大田原マレットパーク」の利用者が大きく減少している、対策は。

A 豊かな自然環境が魅力の当施設を多くの皆様に来訪い

ただけるよう、誘客のノウハウなど、早急に関係部署や関係団体と相談し、人員配置や運営方法等も検証し、スピード感をもって対策に取り組む。



大田原の自然の中でマレットゴルフと食事が楽しめる
(秘書広報課撮影)

公共交通事業のデマンド型乗合タクシーについて

Q 高齢者や交通弱者から「猛暑や風雨の中、停留所まで待つことや、停留所から自宅まで行き帰り歩くことがとてもつらい」という声が聞かれる。高齢者や交通弱者はドアツードアにし、利便性を向上させるべきでは。

A 現在、高齢者や交通弱者に利用しやすい優良な方策を実現するよう、交通事業者と共に研究・検討を進めている。



気候変動について

Q 東京23区で6月から7月に56人が熱中症の疑いで亡くなった。長野県のエアコン普及率は60%。市民の命を守るため、支援が必要な世帯のエアコン購入に補助を出せないか。

A 生活弱者のみを対象とするのか、省エネ家電購入者も対象とするかを含め、補助をしている自治体を参考に検討する。

Q 温暖化対策は全世界の最重要かつ最緊急課題。メタンはCO₂の約20倍の温室効果があり、その44%を水田が出している。中干しを一週間延長すればメタンを30%削減できる。農家へ呼びかけては。

A J Aとともに広報する。

松枯れ対策について

Q 松枯れが進み市民が不安。原因として松くい虫や地球温暖化、大気汚染などの環境変化や、植生の遷移も考えられる。松枯れの原因をどう認識しているか、市の対策は。

A 温暖化の影響が大きい、マツノザイセンチュウをマツノマダラカミキリが媒介しているのを特定している。森林所有者の伐倒駆除が原則。市は、守るべき松林を指定し伐倒駆除を実施している。

Q 予防策としてヘリコプターによる農薬散布もある。出雲市や上田市では大きな健康被害が発生し、中止にいたった。千曲市が中止した理由は何か。再開を求める声もあるが市の考えは。

A 住宅から一定の距離をとれないことや効果が限定的などが理由。再開には協議会の協議や、人体への安全性の確認、市民の合意が必要。



こども誰でも通園制度について

Q こども未来戦略に基づき来年度創設される「こども誰でも通園制度」は、対象を乳幼児6か月から3歳を迎える誕生日前日までの未就園児としている。月10時間の利用制限について市は。

A 利用可能枠については、月10時間は国で示されており、市としても当面は10時間で、利用状況を踏まえ近隣市町村の動向も注視しながら、必要に応じて利用可能枠の見直しも検討したい。

Q 子ども・子育て支援事業補助金を財源として、国民健康保険と後期高齢者医療の特別会計にシステム改修委託料が盛り込まれているが。

指定福祉避難所の配置について

Q 指定福祉避難所は要配慮者のため特別の配慮がなされた避難所で、必要な人員の確保が求められているが。

A 健康福祉部の正規職員を福祉避難所本部と福祉避難所15施設に配置している。災害の状況によって十分な人員配置とならない時には併設の避難所等からの応援を予定している。



避難所での
エアーストレッチャー



討 論 このような理由で 賛成・反対しました。

千曲市屋代駅市民ギャラリー条例の全部を改正する条例制定 採決結果: 否決

反対
 川嶋 敬信

令和7年4月より「子どもや若者の支援及び学習スペースの確保を図るため」として、展示や催事の貸し出しを止めた。そして今回、千曲市屋代駅ユースステーションという名称にし、学習スペースとして運営するという条例の全部改正案については反対する。子どもや若者以外の利用は制限されること。子どもや若者の支援は大変重要だが、平日の昼間の利用はあるのか。管理する職員がいない場所の提供が本当に子どもや若者の支援になるのか疑問だ。また、今まで展示で利用していた各種の市民団体の展示場所を奪うことに疑問を感じる。

賛成
 堀内 太一

子どもや若者の交流や学習の場を確保し、その活動を支援するため、屋代駅舎内に千曲市屋代駅ユースステーションを設置する条例は、駅舎内に位置することで子どもや学生、高齢者も利用しやすい。地域の見守りやつながりが広がるものだ。さらに、清泉大学農学部が加わることで、新しい発想や活力が地域に波及し、にぎわいの創出や世代間交流の拠点となることが期待される。条例化により継続性も確保され、市民みんなで支え合う仕組みづくりに寄与するものと考え、賛成する。

反対
 聖澤 多貴雄

屋代駅市民ギャラリー条例改正案には、若者支援の理念に共感しつつも、現時点では具体的な構想や支援体制が十分とは言えない。子ども、若者が安心して集える居場所づくりには教育的視点や専門性、財政的裏付けを含めた丁寧な検討が欠かせない。子ども・若者にとつて真に必要な支援とは何か。長期的な視座に立ち拙速ではなく内容を深める熟議を重ねることが大切だ。市長には改めて議会において丁寧な説明を賜り、議会と行政が協働して、子ども・若者支援のあるべき姿を描き出すことを心より期待し反対する。

賛成
 坂口 吉一

屋代駅市民ギャラリー条例改正案は、委員会では否決されたが、それは若者支援そのものを否定したものではなく、運営や全世代への配慮が課題とされたものだ。実際に「駅ナカ居場所力フェー」では中高生が安心して集い、勉強や交流の場として活用された。駅は多世代が行き交う場であり、孤立を防ぎ地域のつながりを生む可能性を持っている。改正案のスペースは高齢者の休憩や待ち合わせなど幅広い用途に使われ、子ども・若者の未来への投資として意義あるものとする。よって私はこの条例改正案に賛成の立場を表明する。

採決結果：採択

上山田地区における松くい虫被害拡大防止の対策を求める請願

反対
 宇田川 弘子

請願は空中散布の再開を目的としている。私の反対理由。1つ、空中散布は利己的な防除方法で他に感染拡大を招くので公益性がない。松くい虫対策は伐倒駆除が根本的な解決方法である。2つ、動植物の多様性は人の心を豊かにし子どもの情操に資する。農業の空中散布は生物の多様性を破壊し生態系を傷つけるので実施すべきではない。使用薬剤は子どもの脳に悪影響を与える可能性がある。これからの人に健康への不安が残ることをしたくない。枯れた松は空中散布では再生しない。3つ、以前、東山の松が枯れたが自然に樹種転換され森は再生している。以上のことから反対する。

賛成
 早志 圭司

賛成の立場から討論する。反対討論において、有効性、また自然界や人体に対する影響を考え農業の空中散布に反対とされた。しかし今回の請願は「現在の対策だけでは松林を守ることができない」という危機感から「松くい虫防除対策協議会」を設置し、総合的な松くい虫対策を行う」との趣旨だ。より有効な対策をとるために全ての方法を賛否両論の立場から話し合う場を設置することに反対する理由がない。空中散布は絶対にダメだから今更協議会を設置する必要はないという姿勢は議会としてよいのか。以上の理由から採択することに賛成する。

反対
 中村 恒彦

松くい虫対策の空中散布で使用される農業は昆虫や鳥類に壊滅的な影響をもたらし、人の脳神経に悪影響を及ぼす懸念があり、EUでは使用が規制されている。松枯れの原因である地球温暖化が止められない以上、常に大量の薬剤と人の手による管理が必要だ。マツは大切な役割を果たしてきたが、現在では燃料や建築材としての需要はほとんどなく、災害防止は他の樹木でも果たせる。守るべきマツに限定して予算と対策を集中し、マツを温暖化に適応する他の樹木に置き換え、薬剤にたよらない健全な森を子孫に残していくべき。よって空中散布が前提の請願に反対する。

賛成
 宮下 繁明

これは上山田自治会連合会が全会一致で決定した地域要望である。上山田の松林は800m以上の急傾斜地が多く現在の伐倒駆除だけでは被害拡大を防止できない。岩山のため樹種転換は進まず土砂災害の危険もありこのままでは歴史ある松茸山が全滅してしまう。坂城町等で散布されている薬剤は農水省が安全性を検証しており健康被害の報告はない。新潟県佐渡市では国の天然記念物トキと共生する農業に取り組んでいるが松くい虫対策の空中防除は継続して実施している。かけがえのないふるさとの松林を守るために空中散布を含めた効率的な対策を早急に行うことを要望し賛成する。

令和6年度一般会計決算認定 採決結果: 認定

反対
 前田 きみ子

一般会計における経常収支比率は硬直化している。保育所整備事業、精神障がい者福祉医療費拡大、特別教室のエアコン設置等に反対しない。しかし、マイナ保険証は常に持ち歩くことから詐欺や紛失などの危険があり、マイナンバー事業に反対する。千曲市の競輪場外車券売り場は収益も落ち込んでいる。ギャンブルで負けた人に対する救済もなく心配である。国民健康保険税を引き下げするため、一般会計からの繰出しをすることによって国保加入者が滞納をして保険証を取り上げられることのないよう安心して千曲市で暮らせるための施策がされていないため反対する。

賛成
 荻原 光太郎

以下の施策・事業を評価し賛成する。こども家庭センターを開設。保育料の軽減や保育所施設整備。胃内視鏡健診事業。木造住宅の耐震化補助。新規就農者支援やワイン振興。サテライトオフィス開設の支援。日本遺産「月の都千曲」を活かした観光振興。アニメ「Tukkyu!」とPR大使「鬼越トマホーク」によるシティブロモーション。小中学校の特別教室にエアコンを設置。学校給食の食材価格高騰分を公費負担。新戸倉体育館建設や（仮称）屋代SIC周辺の魅力あるまちづくり。産業連携道路ネットワークや都市計画道路千曲線などの交通インフラ整備。

令和6年度国民健康保険特別会計決算認定 採決結果: 認定

反対
 中村 恒彦

市町村が運営する国民健康保険は、無職・非正規労働者など所得の低い人が多く加入しているが、保険料は4人世帯でサラリーマンの2倍といわれ、払いたくても払えずに滞納する人もいる。国保加入者の多くは、社会にとって欠かせない仕事や地域を支える仕事に従事している。その存在はもつと評価されるべきだ。全国知事会や市長会は、公費投入を増やし国保税引き下げを国に要望している。当市において私たちは、多くの自治体のように、一般会計からの繰入れをし国保税を引き下げることが要望されているが措置されなかった。よって議案に反対する。

委員会視察調査報告

総務常任委員会視察報告

滝沢 清人

7月1日（宇部市）令和元年から始まった「宇部市デジタル市役所推進計画」は、現在多方面にわたり庁内に浸透している。議事録AI作成、RPAは34業務で活用し年間1800時間の削減につながった。産業DXでは市内企業のDX化を推進するなど、全職員のDXスキル向上に取り組んでいる。その先頭に立つのが民間企業でSE経験があるデジタル課長だった。



山口県山陽小野田市にて

7月2日（山口市・山陽小野田市）広大な市域の山口市、公共交通環境の厳しさは同じ。山口市では官民が強力に連携して「公共交通を育て支える」まちづくり協働の取り組みがあった。

おくやみ



かねてから病氣療養中でありました吉池明彦議員が9月4日にご逝去されました。

2期5年余にわたり、千曲市の発展と市民の安全・安心の実現、とりわけ総合運動公園構想の推進、千曲川堤防の強靱化にご尽力をいただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。



千曲市キャラクター
『あんね』



松井 夏奈子さん
(新田)

実情に寄り添った支援を

子育てと仕事、地域活動の両立に日々悩みながら、年少から中学2年生まで5人の子を育てています。千曲市での子育てについて「しやすい」と感じたことは正直ありません。議会だよりも子供が生まれてから制度を探すために目を通すようになりましたが、目立つのは高齢化対策ばかり。わずかに載る子育てに関する内容も「現実とずれている」と感じます。

子育て世帯の生活は平成から令和の短期間でも大きく変化し、共働きや核家族は今後さらに増えるでしょう。行政の支援なしでは難しいのが現状です。実情を踏まえた実用的な支援こそ必要だと思います。他市の後追いではなく、千曲市独自の魅力的な子育て応援を実現していただきたいです。

次回 12月 定例会予定

(会期 18日間)

日	月	火	水	木	金	土
11/30	12/1	2 本会議 開 会	3	4	5	6
7	8	9 本会議 一般質問 (個人)	10 本会議 一般質問 (個人)	11 本会議 一般質問(個人) 議案審議	12 委員会 総 務	13
14	15 委員会 社会文教	16 経済建設	17	18	19 本会議 委員長報告 討論・採決	20

※議事の都合により、日程が変更される場合があります。

議会を傍聴しよう

本会議・委員会ともにご
なたでも傍聴できます。

市役所5階の傍聴人受付
簿に住所・氏名・連絡先を
記入し入場してください。



議会だよりについてご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさら
なる充実をめざし、読者ア
ンケートを実施しています。

右記コードを読み取り、ア
ンケートにご回答ください。

みなさまの貴重なご意見
をお待ちしています。



アンケートはこちら



今年は酷暑でコメの収穫ができるか心配でした。稲穂が実り無事に稲刈りを終えた田が多く安堵しています。9月定例会は令和6年度の決算議会でした。市民の税金が有効に生かされているか数字と格闘して汗を流す日々でした。限られた予算を有効に、誰もが心豊かに生きられる街を目指して全議員で頑張りました。皆さんのことを考え、話し合い、行動する議会です。これから物価高の嵐。助け合うことがますます大事になってきますね。
(宇田川 弘子)

議会広報特別委員会

委員長 田中 秀樹
副委員長 林 慶太郎
委員 柳澤真由美
川嶋 敬信
中村 恒彦
宇田川弘子
堀内 太一
坂口 吉一